

日本骨髄バンクの現状（平成 19 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,471	4,033	297,636	375,355
患者登録者数	209	173	2,340	23,928
骨髄移植例数	96	91	-	8,902

20 歳未満のドナー登録者数

11 月 258 人

合計 6,607 人（17 年 3 月～）

51 歳以上のドナー登録者数

11 月新規 106 人

延長 208 人

合計 9,194 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 日赤のシステム不具合(骨髄バンク登録ドナーの保留解除処理漏れ)への対応(続報)

先月号のマンスリーレポートにて、標記についての経緯と患者さんへの影響ならびに当財団の対処方針をお知らせいたしました。その後も継続的に患者さんへの影響を調べて、影響がありえた場合については、できる限り本来のあるべきコーディネートの状況に近づけるべく対応(以下「特別対応」)してまいりました。また、その対応及び対象となった患者さんとドナーさんへのご説明とお詫びについて、臓器移植対策室ならびに日本赤十字社と協議を重ねてまいりました。現状をご報告申し上げます。

<患者さんへの調査と対応状況について>

調査した結果、今回のシステム不具合の影響の可能性のある患者さんは、合計 9 名でした。このうち、2 名は特別対応前にドナーさんの理由でコーディネートが終了となり、特別対応を行った患者さんは合計 7 名で、現在、5 名のコーディネートが進行しています。(2 名はドナー理由終了となりました)

これ以外の他の患者さんについては、HLA の条件が優位な他のドナーさんがいらっしゃった、主治医がコーディネートを希望しなかった、ドナーさんの健康上の理由等でコーディネートが終了になり進められなかった、あるいは、具体的な影響は考えにくい、といった状況でした。

<患者(主治医)さんとドナーさんへの説明等について>

影響があった可能性がある患者さんで、主治医から特別対応のコーディネート依頼があった 6 人の患者さんについては、日本赤十字社から主治医宛にこの度の説明とお詫びについて文書が出されました。一方、ドナーさんについては、本件について事情を説明しご協力いただいた方に、同様の説明とお詫びの文書が出されました。

- ・患者さんの人数については、その後の調査において判明したものが含まれるため、先月号でお知らせした人数より増えていますことをご了承ください。

- ・詳細については当財団のホームページをご参照ください。(12 月 20 日掲載予定)

2 地域に根ざした草の根骨髄バンク啓発活動の検討について

来年度、地域に根ざしたドナー登録者の確保活動と普及啓発活動の推進に向けて施策を検討しています。内容としては、現在、全国各地で実施されているドナー登録会について、説明や声かけのための人員を確保し登録が円滑に進むよう、財団が必要な経費負担を行うものです。また骨髄バンクの普及啓発の一環として全国各地で実施されている出張講演会についても、更に活発に展開できるよう、ボランティア団体の皆様を支援していこうというものです。今後、関係者の皆様とさらに内容をつめていきたいと考えています。

3 達成間近、ドナー登録者数 30 万人と年間移植例数 1000 例

11 月末でのドナー登録者数は 29 万 7 千人（前ページ）を超え、また骨髄バンクを介しての本年 1 月から 11 月末までの骨髄移植例数は 936 例（3 ページ / 表 3 . 血縁者間骨髄移植実施数を参照）となっています。目標としているドナー登録者数 30 万人と年間移植例数 1000 例達成が間近となりました。

ドナーの皆様、ボランティアの方々、医療関係者、行政、日本赤十字社ほか、ご支援いただきました全ての皆様に感謝を申し上げます。

4 骨髄バンク推進全国大会

本年度の骨髄バンク推進全国大会につきましては、2 月 9 日（土）東京の「池坊お茶の水学院」にて 13 時から 16 時 30 分の予定で実施されます。内容については、第 1 部式典、第 2 部は大会イベントとして、骨髄バンク講座をはじめ、患者さんとドナーさんの対談、会場の皆様との情報交換を実施します。また、分科会場では骨髄バンク事業の事例発表、ドナー登録シミュレーション、展示セッションなどを行う予定です。ドナー登録者や関係者をはじめ、一般の方にもご参加いただけるような内容を検討しています。

5 多彩な支援～読売巨人軍、ぐるなび、中溝プロ～

「ジャイアンツ・ファンフェスタ 2007」/ 11 月 23 日、読売巨人軍のファン感謝イベント「ジャイアンツ・ファンフェスタ 2007」が東京ドームで開催されました。今シーズンも読売巨人軍からは様々な支援をしていただきましたが、セレモニーでは、シーズン中に販売された G - B A N D の収益金が原辰徳監督から財団に授与されました。

「ぐるなび・骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」& 「中溝裕子骨髄バンクチャリティーコンペ」/ 12 月 3 日、骨髄バンクを支援するための 2 つのチャリティーゴルフ大会が催されました。ひとつは今回で 3 回目となる『ぐるなび・骨髄バンクチャリティーゴルフ大会』が開催されました。試合後のチャリティーオークションでの収益金他が寄付され、財団から感謝状の授与が行われました。もうひとつは、骨髄移植推進財団の評議員でもあるプロゴルファーの中溝裕子さんが骨髄移植後満 10 年を記念した「中溝裕子骨髄バンクチャリティーコンペ」を開催し、チャリティーオークションの収益金他が寄付されました。

6 11 月のドナー登録会、区分別登録者数

全国各地のボランティア団体等の協力のもとで行われているドナー登録会の 11 月の区分別登録者数は、献血併行型集団登録会/2,181 名、献血ルーム/1,313 名、集団登録会/364 名、その他/175 名でした。

7 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開	12 月 20 日（木）17:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
将来展望検討会議	公開	12 月 22 日（土）13:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
常任理事会	公開	1 月 11 日（金）17:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
将来展望検討会議	公開	1 月 14 日（月）13:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室